

「農福連携 栽培技術基礎講座」を開講しました

県内の福祉関係事業所の職員の方を対象に、主に野菜の栽培に関する基礎知識と技術について学んでいただき、農福連携の取り組み推進を図ることを目的として、今年度より標記講座を開講しています。第1回目となる講座を4月22日開催しました。

8名の受講生は「一から詳しく野菜作りを教えてほしい」「事業所で農業にチャレンジしてみよう思っている。何からスタートすると良いか」「すでに事業所で農業に取り組んでいる。土づくりや野菜の病害虫について知りたい」など、様々な目的をもって講座に参加されています。

第1回目の講座は、講演、講義、実習と1日かけて学んでいただきました。

講演は岐阜大学応用生物科学部の大場伸哉教授にお願いしました。障がい者が仕事として農業に向き合うことで得られる可能性と課題について、海外の事例や大学での取り組みを通して説明いただき、農福連携に取り組む指導員としての役割や大切なことを教えていただきました。

講義は「土壌」について、土壌の性質や良い土の条件、土づくりの実際などを、実習では、土壌改良資材の施用や管理機を使った畝立て、スイートコーンの播種を体験していただきました。

今後11月まで合計10回の講座を開催予定です。



〈管理機を使用した実習の様子〉



〈講義の様子〉